

# 2018-19年度ライオン誌日本語版委員会 第6回会議 報告書

日 時：2018年12月6日(木) 13:30～16:00

場 所：一般社団法人 日本ライオンズ 事務所

出席者：国際理事 佐藤 義雄 (長野県・戸倉上山田ライオンズクラブ)  
国際理事 安澤 莊一 (福島県・白河小峰ライオンズクラブ)  
委員長 矢野 敏明 (336複合地区／島根県・松江葵ライオンズクラブ)  
編集長 稲岡 敬弘 (332複合地区／秋田ライオンズクラブ)  
委員 渡辺 和廣 (330複合地区／山梨県・甲府シティ ライオンズクラブ)  
委員 渡辺 修 (331複合地区／北海道・美唄ライオンズクラブ)  
委員 渡邊 信也 (333複合地区／新潟県・亀田ライオンズクラブ)  
委員 西川 恒彦 (334複合地区／静岡県・富士宮ライオンズクラブ)  
委員 神崎 守 (335複合地区／京都やわたライオンズクラブ)  
委員 椿 幸雄 (337複合地区／熊本火の国ライオンズクラブ)  
一般社団法人専務理事 高橋 克文 (千葉県・船橋翼ライオンズクラブ)  
一般社団法人理事 太田 健一 (336複合地区議長／岡山県・総社雪舟ライオンズクラブ)  
ITアドバイザー 莊 英隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)  
ITアドバイザー 辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズクラブ) ※オンライン  
ITアドバイザー 小柴 登司 (337複合地区／沖縄県・浦添ウエスト ライオンズクラブ) ※オンライン



矢野委員長の開会あいさつに続いて、佐藤、安澤両国際理事からあいさつと国際関係報告、日本ライオンズ高橋専務理事のライオン誌関係報告と太田理事のあいさつがあり、その後、矢野委員長、稲岡編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営 (別紙-月次決算報告)

2018年10月度の収支計算書を元に会計担当者から説明があった。前回会議で報告された通り、国際協会補助金の誤りを調整するため、差額約500万円をマイナス計上した結果、国際協会補助金の当月執行額はマイナス1,579,966円となった。その上で、10月は本誌の発行があったためライオン誌送料を収支双方に計上し、また紙媒体発行に関わる印刷費2,563,920円、及び発送事務費1,017,227円が発生。この他、収入では国際協会から3カ分の指定記事翻訳料補助の入金があり、支出では事務用パソコン3台の買い換え費用約24万円があった。当月収支は約537万円の赤字だが、国際協会補助金の調整差額を除いた当月分収支は約37万円の赤字で、累計では6,259,303円の収支差額が出ている。※一般社団法人理事会旅費や借室料など、年度末精算の予算額を差し引いた収支は約200万円の黒字。

#### ●2018年7-9月分国際協会補助金

11月9日に入金された7月1日から9月30日までの国際協会補助金9,941,375円の内訳を確認した。同期首(7月1日)と同期末(9月30日)の購読対象会員数は89,829人、為替レートは110.67

円だった。

## 2. 本誌関係

### ●2019年1・2月号（2018年12月20日発行）記事内容の確認

事前に送付された1・2月号校正を元に確認し、各委員から数カ所、内容等について指摘があった。特集は「レオクラブ」で、全国135のレオクラブの中からレオらしい活動に活発に取り組むクラブや、会員構成や活動内容などに特色のあるレオクラブを取材した他、全クラブを対象にアンケートを実施し、レオの現状を掲載している。また、藤川清幸333複合地区議長からの情報で、新しく結成された群馬Jr.オーケストラ レオクラブを取材し囲み記事で紹介した。中国・海南でのOSEALフォーラムは、柿原勝彦335複合地区議長から写真の提供を受け掲載。「国際理事だより：佐藤義雄国際理事」、「編集室：渡辺和廣委員」。前回会議後、本部から指定記事として「ニューヴォイス」の原稿と写真が配信され、一部台割を変更してこの号に入れている。表2スペースには本誌7・8月号「私の考えるライオンズクラブ（仮）」用の意見及び提言募集の告知、表4スペースには2019年11月に広島市で開催される第58回OSEALフォーラムのPRを掲載する。

## 3. ウェブマガジン関係

### ●2018年12月号（12月1日更新）出来

12月1日更新のウェブマガジン12月号の出来を確認した。神崎委員から、毎月3本更新されている「奉仕活動」は流れが定型的になりがちで、ともすると同じ原稿を読んでいるような思いを持つことがあるが、今月は記事にバリエーションや膨らみを感じられた、との評価があった。

### ●2019年1月号以降台割案

ウェブマガジン1月号から3月号の主要コンテンツについて、内容と取材経費が提出され、承認された。

### ●メールマガジンの発行

前回会議で、ウェブマガジンへのアクセスを増やすためメールマガジンの配信が提案され、各クラブに会員のメールアドレス登録を推進してもらうよう働き掛けるなどの方策を検討していくことになった。これを受け、オンライン報告システムServannAにメールアドレスを登録している件数を確認したところ、11月現在在籍の会員で、国内用メールアドレス欄に何らかのアドレスを登録している人は10,113人、MyLCIエクステンション・フォーラムへの登録は19,639人だった。両欄への重複記入分を除く登録者は25,333人だったが、MyLCIエクステンション・フォーラムのアドレスはほとんど地区キャビネット、もしくはクラブ事務局の代表アドレスで、ServannA欄もクラブのアドレスが入っている人がおり、それらを除くと個人のメールアドレス登録者は9,000人弱であることが分かった。また、本部が推進しているMyLionも当初11月中にウェブ版が公開されるとしていたが、今日現在も公開されておらず、個人のメールアドレス登録が急速に進むとは考えにくい状態であるため、メールマガジン配信については、いったん保留とすることになった。

### ●情報資料コンテンツの更新

11月1日に国際協会公式サイトがリニューアルされ、「情報資料」コンテンツ内の本部関係リンクがほとんど消滅したことに伴い、前回会議以降、稲岡編集長が新サイトの構造を確認していたが、HTMLファイルやPHPファイルなどで作られたページそのものが存在しないものも多く、国際協会やLCIF関係のリンク取得は困難との結論に達した。「情報資料」コンテ

ンツは内容を整理し、ライオン誌でコントロール可能な資料を掲載していく。

●新コンテンツ「国際財団」及びトップページ更新情報の実装

今年度に入ってLCIFに関するコンテンツをウェブマガジンに追加することが提案され、第4回会議で設置を決定した新コンテンツ「国際財団」は作業が完了したことから年内に実装する。また、ウェブマガジン開設時は「ニュース」のみだった随時更新記事が、その後の委員会審議により、クラブの投稿を扱う「活動報告」と今回の「国際財団」が追加され、更新情報一覧ページが必要となったことから、そのリンクをトップページに設ける案が提案され承認された。こちらは即時公開する。

#### 4. 主要記事予定

●2018-19年度主要記事予定

現在まで決まっている主要記事予定を確認した。そのうち本誌特集に関して、3・4月号は331複合地区の渡辺委員から取材候補のクラブにコンタクトを取って頂き、1月の取材が決まったことが報告された。また、11月に開催される広島フォーラムのPR記事、及び熊本地震に対するLCIF交付金事業の報告記事等について検討した。広島フォーラムについては組織委員会の寺越慎一委員長と相談の上、企画案を立てる。熊本地震に関しては337複合地区の椿委員に調べて頂き、最終の事業が2019年3月完成見込みとのことで、それを待って取材を行う。今後、これらの企画案が具体化した時点で、5・6月号及び7・8月号の特集記事の構成なども考慮しながら、台割案を整えていくこととする。

●2018年11月取材経費

前回会議で提案された取材ごとの経費把握のための取材経費精算額一覧が提出され、確認をした。

●2018年12～2019年2月取材経費概算

12月から2019年1月にかけての取材経費概算が提出され、検討の上、取材を承認した。

#### 5. その他

●菅原事務所長から、ミラノ国際大会取材のため職員派遣を委員会として理事会に申請して頂きたいとの話があり、編集スタッフ2人の派遣を申請することになった。

●332-C地区からライオンズクラブPRのためのテレビCM用に、ライオン誌で使用した画像の提供依頼があり、カメラマン撮影分も含め提供したことが報告された。CMは12月20日から30日まで宮城県内で放映されるとのこと。

●ライオン誌サポーター・アンケートの内容を確認した。ウェブマガジンに関しては、これまで委員会で度々検討されているように、もっと会員にPRした方がいいとの提言があった。今後、その具体的方策を考えることが重要との認識を改めて確認した。

●矢野委員長から、これまで検討してきたライオン誌の方向性に関する委員会としての見解をまとめるため、次回1月の会議と2月の会議で重点審議することが提案された。

閉会あいさつ 矢野敏明委員長

#### 【次回以降委員会開催予定】

1月9日(水)	13:30～16:30	第7回会議	日本ライオンズ事務所
2月6日(水)	13:30～16:00	第8回会議	日本ライオンズ事務所